



入江泰吉記念
奈良市写真美術館

工藤利三郎・入江泰吉・永野太造

観 仙 二 昧

Kanboutsu-zammai

Gazing at Buddha statues

2024年7月13日(土)～9月1日(日)

講演会

申込不要
要観覧券

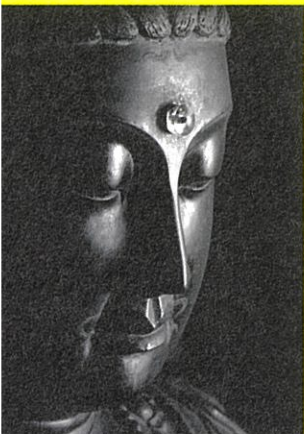
7月13日(土)14時

帝塚山大学 教授 鷺森 浩幸

「鹿鳴荘・永野太造について」

Irie Taikichi Memorial Nara

City Museum of Photography



入江泰吉「薬師寺聖観音像」



永野太造「松尾寺大黒天像」



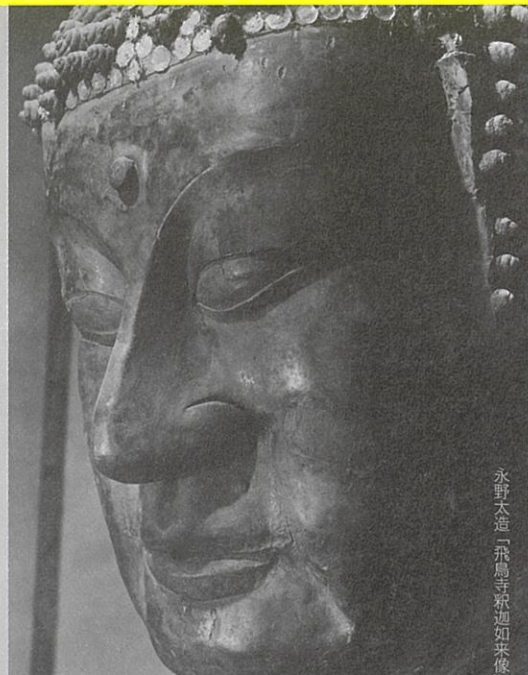
工藤利三郎「唐招提寺金堂内陣」



入江泰吉「東大寺日光菩薩像」



工藤利三郎「興福寺阿修羅像」



永野太造「飛鳥寺釈迦如来像」

奈良を活動拠点として仏像写真を撮り続けた写真家、工藤利三郎、入江泰吉、永野太造の三名を取り上げます。工藤利三郎は、奈良における古美術写真の草分け的存在であり明治中期から大正期にかけて活躍した写真師(写真家)でした。作品は文化財が修理される前の姿が記録され、その歴史的資料価値は非常に貴重なものとなっています。

入江泰吉と永野太造の二人は、戦後から仏像写真家として活躍してきました。特に、1954年からはじまった「奈良大和路」仏像ポスターは、一時期、入江泰吉と永野太造の作品が交互に使われるなど、多くの方々に「みほとけの美」を知らしめたのです。

今回は「観仏三昧」と題して、奈良を愛した歌人であり美術史家の會津八一の書から引用しました。「仏像の研究と鑑賞に専心する」という意味で、工藤利三郎、入江泰吉、永野太造と三名からなる仏像との対話、みほとけへのとらえ方など、それぞれが引き出した仏像の魅力を紹介しします。

1848年(嘉永元)1月27日、現在の徳島市に生まれる。1877年(明治10)、西南の役の後、徳島の藍商・板東家の東京支店に勤務。翌年、「古書画鑑賞会」に参加、日本の古美術の惨状を知る。この頃、写真術を習得。1883年(明治16)頃、徳島市で写真館を開業するが、「美術ノ淵叢(えんそう)タル奈良ニ移ス」と奈良に転居。1893年(明治26)、猿沢池畔に古美術専門の写真館「工藤精華堂」を開業。被写体は奈良を中心に北は中尊寺(岩手)から南は臼杵石仏(大分)とほぼ全国に及び、私財を投じて1908年(明治41)から19年かけて写真集『日本精華』全11輯を刊行。1929年(昭和4)7月11日、81歳で逝去。2008年、当館所蔵の工藤利三郎のガラス原板が国登録有形文化財に登録。



法隆寺金堂壁画6号
阿彌陀浄土左脇侍観音菩薩
(1893-1908年)

工藤利三郎
KUDO Risaburo

1905年(明治38)11月5日、奈良市に生まれる。1931年(昭和6)、大阪に写真店「光藝社」を開き、文案の写真家として活躍。1945年(昭和20)3月の大阪大空襲で自宅と店舗を焼失、故郷・奈良へ引き揚げる。同年11月17日、疎開先から戻る東大寺法華堂の仏像を目撃、アメリカに接収されるとの噂を聞き、写真に記録することを決意。以来、奈良大和路の仏像、風景、伝統行事の撮影に専念。晩年には「万葉の花」を手がけるなど約半世紀にわたって撮り続けた。1992年(平成4)1月16日、86歳で逝去。



興福寺阿修羅像(1958年3月)

入江泰吉
IRIE Taikichi

1922年(大正11)8月16日、大阪市生まれ。第二次世界大戦後、叔父夫婦が経営していた「永野鹿鳴荘」を引き継ぐ。店の傍ら、独学で写真を始める。1952年(昭和27)、奈良国立文化財研究所が設立され、仏像研究の第一人者・小林剛氏らの依頼で文化財調査に同行、写真撮影に携わる。その傍ら寺院の仏像や案内書を制作、販売する。『奈良六大寺大観』『大和古寺大観』(いずれも岩波書店)など、多くの美術書に作品が掲載される。戦後の奈良を代表する仏像写真家の一人として活躍した。1990年(平成2)8月14日、68歳で逝去。



浄瑠璃寺吉祥天女像(1962年1月)

永野太造
NAGANO Tazo

観仏三昧

Kanbutsu-zanmai
Gazing at Buddha statues

2024

7/13(土) - 9/1(日)



naracmp.jp

入江泰吉記念
奈良市写真美術館

〒630-8301 奈良市高畑町600-1
TEL 0742-22-9811 FAX 0742-22-9722

[主催] 奈良市、入江泰吉記念奈良市写真美術館(一般財団法人奈良市総合財団)
[協力] 帝塚山大学(永野太造写真作品所蔵)

- 開館時間 9:30-17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 月曜日 但し、7/15(月)・8/12(月)は開館、翌7/16(火)・8/13(火)は休館
- 観覧料 一般500円/高校・大学生200円/小・中学生100円
団体(20名以上)2割引/毎週土曜日、小・中・高校生無料/
障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方無料/
奈良市在住の70歳以上の方無料

[作品解説]
毎月第2・第4土曜日
14:00~



駐車場あり(1時間まで無料)

Access

- JR・近鉄奈良駅から奈良交通市内循環バスで「破石町(わりいしちょう)」下車、東へ徒歩約10分、新薬師寺西隣
- 大阪難波駅から快速急行約35分、近鉄京都駅から急行約50分、近鉄名古屋駅から特急約2時間30分(大和八木駅・大和西大寺駅乗換)



#oldnewnara